

教科 音楽 学年 第2学年

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション ●既習曲	これまでの音楽活動を振り返ったり、これからの学習に興味をもとう			歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的・協動的に取り組んでいる。
作者の思いを歌声に乗せて歌おう ●「語りあおう」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解して歌おう	音楽を構成する要素を知覚し、創意工夫を生かしながら、歌詞の内容や曲に込められた作者の思いを感受し他者と合わせて歌う技能を身につける。	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に学習に取り組んでいる。
曲の形式を捉えパイプオルガンによる表現を観賞しよう ●「小フーガ短調」	パイプオルガンの響きや音色を味わいながら、曲の形式や音楽の構造とのかかわりを理解して観賞しよう	曲想と音楽の構造との関わりを理解して鑑賞している。	音楽を形作る要素を知覚し、それの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととのかかわりを考え、曲や演奏に対する評価やその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞の学習に取り組んでいる。
曲の形式を生かして歌おう ●「浜辺の歌」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解して歌おう	曲想と音楽の構造や歌詞の内容、曲の背景との関わりを理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。	音楽を形作る要素を知覚し、それの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に学習に取り組んでいる。
曲想の変化を理解し、表現を工夫しよう 歌唱表現の工夫 ●合唱コンクール曲	曲想の変化を理解し、曲にふさわしい音楽表現をするための歌唱表現の技能を身に付けて歌おう	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて工夫を生かして歌唱することができる。曲想と音楽の構造や歌う技能を身に付ける。内容との関わりについて理解する。	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的・協動的に取り組む。
音楽の構成に注目して名曲を楽しもう ●交響曲第五番ハ短調	音楽の構成の仕方を理解し、交響曲を観賞しよう	鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。	鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。	オーケストラの響き、動機の変化、ハ短調、動機や旋律の組み合わせ方、ソナタ形式や構造と曲の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的・協動的に取り組もうとしている。
リズム創作 ●音のスケッチ 八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作 ●ボディーパーカッション	リズムパターンをつくらう	音楽材の特徴及び音の重なり、反復、変化、対称などの構造上の特徴を理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な課題や条件に合った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。	創作表現に関わるイー(イ)の知識やウー(イ)の技能を生かしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。	創作表現の知識や技能を生かしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協動的に取り組んでいる。
日本の伝統音楽の魅力 ●雅楽「越天楽」	日本の伝統的な楽器を知り、雅楽の表現の特徴を理解し、聴き、深めよう。	音がkの特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関連について理解する。鑑賞した内容を自分なりに解釈し、批評文にまとめる。	鑑賞にかかわるイー(イ)の知識を生かしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	鑑賞にかかわる知識を得たり、生かしたりしながら、曲の演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さを味わって聴く学習に主体的・協動的に取り組む。
音楽で気持ちを伝えよう ●卒業式歌等	歌詞や速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取って思いを込めて歌おう。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けて演奏することができる。	歌唱表現に関わるイー(イ)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	歌詞の内容や曲想に興味を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。